

公益財団法人

# 渥美国際交流財団

良き地球市民の実現をめざします



Sekiguchi Global Research Association

関口グローバル研究会

[www.aisf.or.jp/sgra/](http://www.aisf.or.jp/sgra/)



# ごあいさつ

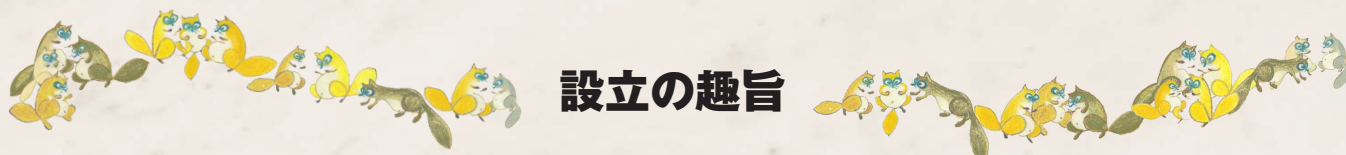


渥美国際交流財団は、亡父渥美健夫の遺志を引き継ぎ更に発展させるため、世界各国から日本の大学院に留学し博士号取得を目指す外国人留学生に対して奨学支援を行うと共に、元渥美奨学生を中心とした、日本留学経験者ネットワーク「渥美国際交流財団関口グローバル研究会 (SGRA)」による国際交流事業を推進してまいりました。この SGRA という名称は、日本に留学した外国人研究者の声を渥美財団のある東京都文京区関口からグローバルに発信していこうと思い名付けたものです。

1994年の設立以来、支援した元渥美奨学生は51ヶ国・地域、350余名にのぼり、ネットワークは世界に広がり、さまざまな国際交流、学術交流事業の担い手となっています。更に、2022年度からは、博士号取得を目指す日本人学生／研究者も渥美奨学生として採用することにいたしました。日本人学生／研究者が加わることにより、私共が推進する国際交流、学術交流事業が、更に厚みを増し、実り多いものとなることを期待しております。

この活動の中で生まれた「良き地球市民の実現」という目標をかかげ、一層発展させてまいりたいと思います。皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

理事長 渥美直紀



## 設立の趣旨

近年の交通・通信手段の発達により、海外旅行者の数はめざましく増加し、また、世界中の出来事が即座に伝えられるようになりました。このような時代に生きる私達は、もはや国家という単位ではなく、国際社会の一員として物事をとらえていかなければならないのではないのでしょうか。現在経済大国となった日本は、国際的な活動をもっと積極的に押し進め、世界に対してより大きな役割を果たすことができるのではないかと指摘されています。

渥美国際交流財団は、1993年に物故いたしました渥美健夫鹿島建設名誉会長の遺志により、このような状況にあります日本の国際化の推進にささやかながらもお役に立ちたいという願いをこめて設立されました。当財団は諸外国から日本の大学院に留学している優秀な学生に対し、奨学支援をいたします。日本にやって来た留学生が、学問を成就するだけでなく、日本の豊かな文化や社会に触れ、より大きな収穫を得ることが出来ますようお手伝いさせていただきたいと思います。

渥美国際交流財団は、渥美氏の国際交流の促進への信念を引き継ぎ、一層の発展をめざして活動してまいりたいと思います。若者たちがより大きな世界を知るよう支援させていただくことによって、人々の心の中に国際理解と親善の芽が生まれ、やがては世界平和への道がひらかれてゆくことを願っております。

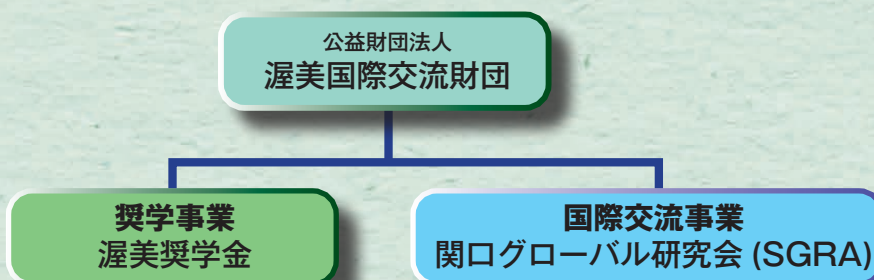
(1994年4月1日)



故渥美健夫氏

## 渥美財団のふたつの公益事業

渥美財団の事業は大きくふたつに分かれます。奨学事業と国際交流事業 (SGRA) です。





# 奨学事業



## 渥美奨学金について

渥美国際交流財団は、奨学生の皆さんに自分とは異なる分野の人々と出会い、話し合う場を提供したいと思います。そのためにも、奨学金は必ずお目にかかってお渡しし、緊密なコミュニケーションをとりながら奨学支援を行います。奨学期間が終わった後も連絡を取り合い、ゆくゆくは世界的な規模の人的ネットワークを築けたら素晴らしいと思っています。また、渥美財団のネットワークは、どんなにささやかではあっても世界の調和ある発展のために役立てたいと考えています。そのため、人類や社会、あるいは自然との「調和ある発展」に貢献する可能性が大きいと考えられる研究を歓迎します。

## 渥美奨学金の概要

### ■ 応募資格（下記の全てに該当すること）

1. 日本の大学院の博士（後期）課程に在籍し、奨学金支給年度内に博士号を取得する見込みのある方。正規在籍年限を超えたために、或いは、海外の大学院より博士号を取得するために、研究員等として日本の大学院に在籍する方も含みます。
2. 在籍する大学院研究科（研究室）と居住地の両方が、関東地方（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県）にある方。
3. 日本語が堪能な方（応募書類と面接は日本語だけです）。日本人は外国語能力が高いことが望ましいですが条件ではありません。
4. 国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流活動に積極的に参加する意志のある方。

### ■ 奨学金の内容

渥美奨学金の支給額は月額 25 万円です。毎年 16 名に支給します。支給の期間は 1 年間です。継続は認められません。

### ■ 応募方法

奨学金希望者は、毎年 7 月 1 日以後、各大学院の奨学金担当課または当財団事務局まで、応募要項と申込書をご請求下さい。7 月 1 日以後、財団ホームページからもダウンロードすることができます。応募申込は毎年 9 月に受け付けます。

### ■ 選考の方法

予備選考委員による書類と面接の予備審査の後、最終選考委員による書類審査と面接審査により選考します。

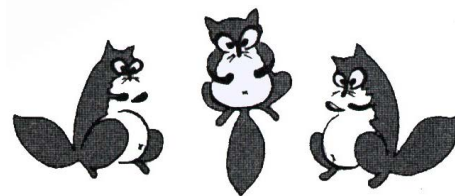
## 生活支援と同窓会活動（ラクーン会）

渥美奨学金は、毎月の例会や個人面談で学業や生活について報告していただいた上で支給します。また、毎年数回奨学生全員（元奨学生を含む）と当財団の理事・評議員ならびに選考委員を招き、親睦会を開催します。夏には小旅行に招待します。

年度末には研究報告会を開催し、当該年度奨学生に研究成果を発表していただきます。その他、新年会など毎月の例会を開催し、奨学生間の親睦を深めます。

渥美奨学生の同窓会は、渥美健夫氏が描いていた狸にちなんでラクーン会と呼ばれています。ラクーン会はソウルや北京や台北など各地で開催されます。

世界中の仲間たちとオンラインラクーン会も開催しています。





# 国際交流事業



Sekiguchi Global Research Association

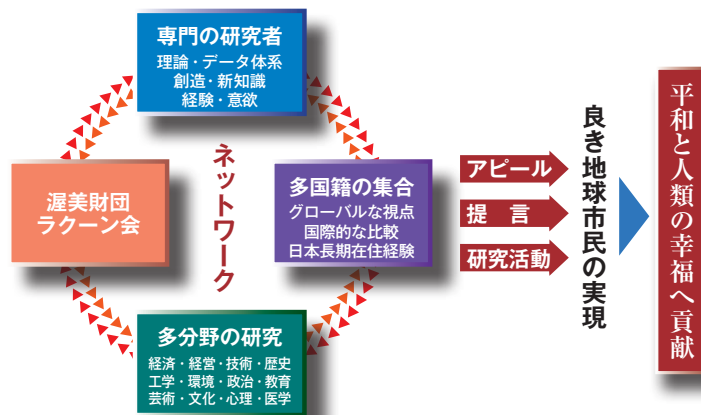
## 関口グローバル研究会

良き地球市民の実現をめざします

### SGRA とは？

SGRAは、日本の大学院で研究を行い渥美奨学生として共に過ごした外国人および日本人の研究者が中心となって、個人や組織が現代の課題に立ち向かう時に役立つ研究、問題解決の提言を、フォーラム、レポート、ホームページ等の方法で広く社会に発信しています。多分野多国籍の研究者がプロジェクトチームを編成し、広汎な知恵とネットワークを結集して、多面的なデータから課題に対する分析・考察を行います。SGRAは、ある特定の分野だけではなく、広く社会全般を対象に、幅広い研究領域を包括した国際的かつ学際的な活動を狙いとしています。良き地球市民の実現に貢献することがSGRAの目標です。

### SGRA の特徴



■ SGRAは、渥美国際交流財団関口グローバル研究会 (Sekiguchi Global Research Association) の略称です。渥美財団の所在地である東京都文京区関口から世界に向かってグローバルな課題への取り組みを発信しています。

■ SGRA は、渥美財団の事業資金と法人・個人からの寄附金、諸機関からの助成金、その他の収入を運営資金として活動を展開しています。



## SGRAフォーラムなどの学術交流事業

SGRAメンバーがプロジェクトチームを編成し、毎年数回、下記のテーマに沿った公開シンポジウム、フォーラムなどの学術交流事業を行っています。世界各地のSGRAメンバーを結び、その国その地域の話題なども取り上げます。

SGRAフォーラムの成果はSGRAレポートとして多言語で出版され、冊子本はSGRA会員に配布、PDF版はSGRAホームページから世界に発信されています。

### ■ SGRA 活動のテーマ

- グローバル化と地球市民
- 環境とエネルギー
- 東アジアの安全保障と世界平和
- 構想アジア
- 共有型成長 / 日本の独自性
- 東アジアの人材育成
- 宗教と現代社会
- 科学技術と教育
- ジェンダーと社会
- 越境する文化芸術



### ■ SGRAカフェ

アジアのポップカルチャーから政治思想まで、SGRAメンバーがホットな話題、気になるテーマを取り上げ、カジュアルな雰囲気です。



### ■ その他のイベント

SGRA スタディツアー in 福島などのイベントを随時開催します。

### SGRAかわらばん

世界を結ぶSGRAならではのメールマガジン「SGRAかわらばん」を毎週配信します。

世界各地のSGRAメンバーからのエッセイやSGRAが開催するイベント等のお知らせをお届けします。SGRAかわらばんは、どなたにも無料でご購読いただけます。購読ご希望の方は、QRコードまたはSGRAホームページから自動登録いただけます。





## 海外の研究機関等との共催プロジェクト

北京、ソウル、台北、マニラ、ウランバートル等で、海外の研究機関などとフォーラム等を共催しています。

### ■ 共同プロジェクト

- 日韓アジア未来フォーラム
- SGRA チャイナフォーラム
- 日台アジア未来フォーラム

### ■ 支援プロジェクト

- 日比持続可能な共有型成長セミナー
- ウランバートル国際シンポジウム



## 日本・中国・韓国における 国史たちの対話の可能性

東アジアにおいては「歴史和解」の問題は依然大きな課題として残されています。講和条約や共同声明によって国家間の和解が法的に成立しても、国民レベルの和解が進まないため、真の国家間の和解は覚束ないままです。歴史家は歴史和解にどのような貢献ができるのでしょうか。日本の日本史研究者、中国の中国史研究者、韓国の韓国史研究者が対話することによって、「国史」と東アジア国際関係史の接点に今まで意識されてこなかった新たな歴史像があるのではないかと期待を込めて、「日本・中国・韓国国史たちの対話の可能性（国史対話）」プロジェクトが始まりました。



本会議は立場によってさまざまな歴史があることを確認することが目的であり、「対話」によって何等かの合意を得ることが目的ではありません。

国史対話は、日本・中国・韓国の研究者からの論文発表あるいは問題提起と、指定討論および自由討論で構成されます。全ての論文と発表資料は日本語・中国語・韓国語の3言語で用意され、会議は3言語の同時通訳付きで行われます。

国史対話の成果はSGRAレポートとして3言語で出版され、SGRA ホームページから世界に発信されています。



## アジア未来会議



アジア未来会議（Asia Future Conference/AFC）は、国際的かつ学際的なアプローチを基本として、グローバル化に伴う様々な問題を、科学技術の開発や経営分析だけでなく、環境、政治、教育、芸術、文化など、社会のあらゆる次元において多面的に検討する場を提供することをめざしています。本会議は、SGRA 会員だけでなく、日本留学し現在世界各地の大学等で教鞭をとっている方々、その学生の皆さん、そしてどなたでも日本に興味のある方々が一堂に集まり、知識・情報・意見・文化等の交流・発表する《プラットフォーム》です。趣旨に賛同してくださる諸機関のご支援とご協力を得て開催するものです。



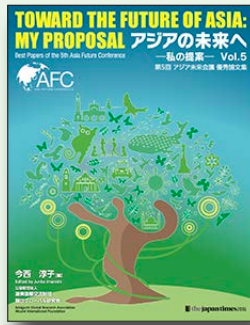
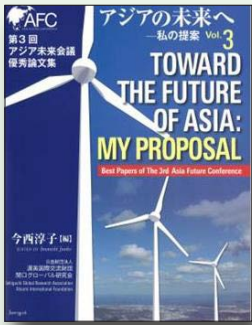
アジア未来会議は、毎回20か国以上から500名を越える参加者を得て、2年に1度、アジア各地で開催されます。各大会で打ち出されるテーマに添ったシンポジウムや円卓会議を開催すると共に若手研究者の研究発表の場として分科会が行われます。AFCに応募した研究論文の中から優秀論文が選ばれ、優秀論文集が出版されます。また、アジア各地から若手研究者が参加できるようにAFC奨学金が提供されます。





## アジアの未来へ—私の提案 (アジア未来会議優秀論文集)

SGRA が 2 年に 1 度、アジアの主要都市で開催する「アジア未来会議」の論文集です。アジア未来会議で優秀賞に選ばれた論文が掲載されています。SGRA 会員だけでなく、日本の大学の国際センター、主要な図書館、海外の大学・日本研究機関にお送りしています。また、インターネット書籍販売サイトからご購入いただくことも可能です。



## SGRA レポート

SGRAフォーラムの講演録を SGRA レポートとして発行しています。紙本版のレポートは SGRA 会員に配付されると共に、日本の大学の国際センター、主要な図書館、海外の大学・日本研究機関に贈呈しています。PDF 版は SGRA ホームページから、どなたでも無料でダウンロードできます。また、一部のレポートは英語版、中国語版、韓国語版として発行しています。



## 寄附のお願い

渥美国際交流財団が、今後とも充実した活動を継続し、ネットワークをさらに広げて、世界の調和ある発展に努めていくために、皆様からのご支援をお願いいたします。

### 寄附金

#### [公益目的事業指定寄附]

(何口でもけっこうです)

法人：一口30万円  
個人：一口10万円

#### [国際交流事業 (SGRA) 指定寄附]

(何口でもけっこうです)

法人：一口5万円  
個人：一口1万円

●特典：ご寄附いただいた方には、渥美財団年報、SGRAレポートをお送りいたします。

### 振込先

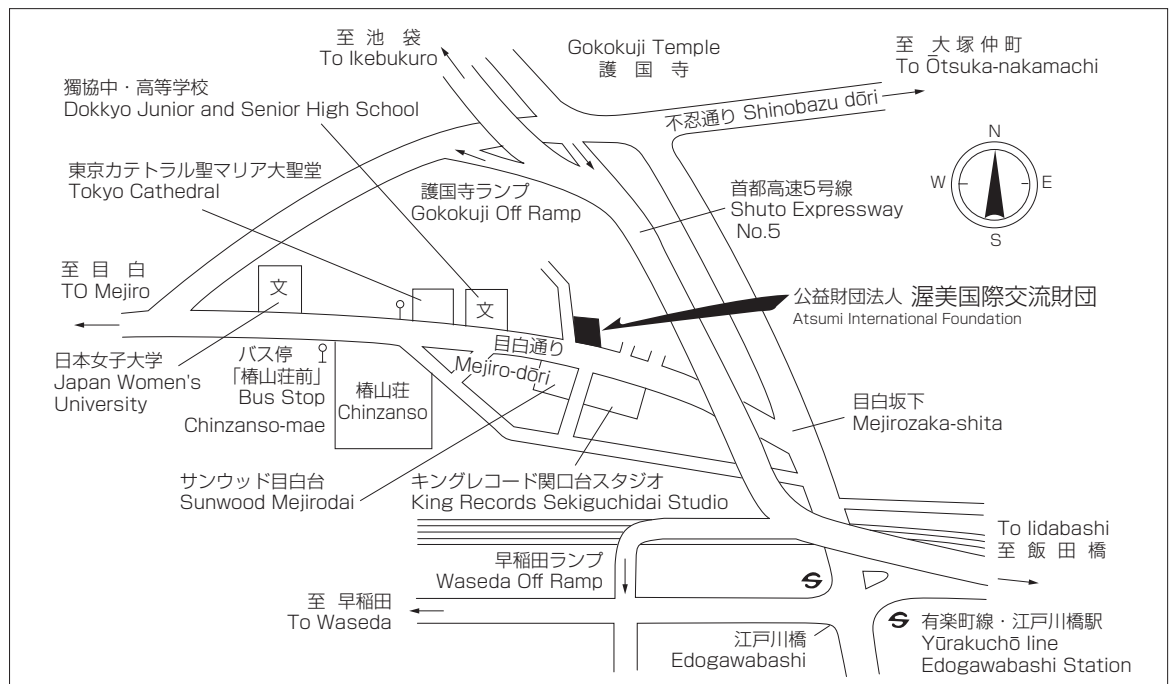
三井住友銀行 目白支店  
普通6499525  
公益財団法人渥美国際交流財団

郵便局 口座番号00170-5-392039  
公益財団法人渥美国際交流財団

### 寄附金の税額控除について

渥美国際交流財団へのご寄附に対しては、税法上の優遇措置が適用され、寄附者は所得税、法人税の控除を受けることができます。詳しくは、財団事務局までお問い合わせください。

## 地図



## お問い合わせ

〒112-0014 東京都文京区関口 3-5-8

**渥美国際交流財団**

TEL: 03-3943-7612 FAX: 03-3943-1512

E-MAIL: [atsumifoundation@aisf.or.jp](mailto:atsumifoundation@aisf.or.jp)

HOME PAGE (渥美財団): <http://www.aisf.or.jp>

HOME PAGE (SGRA): <http://www.aisf.or.jp/sgra/>

